



きららとしょかん明徳館



No.380 2026年9月発行

あたらしくはいった こどもの本

秋田市立図書館ホームページURL



[https://www.city.akita.lg.jp/](https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html)

[kurashi/shakai-shogai/](https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html)

[1008469/index.html](https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html)

お知らせ

子ども講座「折り染めて作ろう！ブックカバー&しおり」

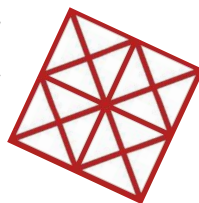
和紙を折りたたみ、水彩絵の具に浸して色の広がりや模様を楽しむ「折り染め」で、ブックカバーとしおりを作しましょう。

日 時：令和8年10月24日（土）午前10時から正午まで

場 所：きららとしょかん明徳館 2階 研修ホール

対 象：秋田市内の小学生とその保護者 先着10組

申込み：令和8年10月3日（土）午前9時から



今月のテーマ展示

絵本（特集児童4）

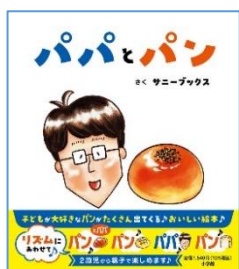
読み物・ノンフィクション

（カウンター展示1）

『お仕事』



えほん



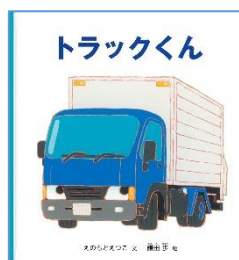
パパとパン

サニーブックス／作

小学館

（Eサ）※2歳から

この絵本に出てくるのは、「パパ」と「パン」。まるメガネパパ、つけひげパパなど、いろいろな姿のパパと、あんパン、ロールパンなどが次々登場！パパの顔をしたパンは、パパなの？パンなの？リズムに合わせて親子でお楽しみください。読み終わるとお腹が空いているかも！？



トラックくん

トラックくん

えのもとえつこ／文

鎌田歩／絵

福音館書店

（Eカ）※2歳から

働き者のトラックくんは、牧場からできたての牛乳を運ぶのが仕事です。おなかに力を入れ、ブル、ブル、ブーンとさあ出発。林を抜け、畑の中の道を通り、途中救急車に道をゆずったりしながら、遠くの町に向かいます。お昼までにちゃんと届けられるかな？



おやすみアレクサンダー

ハロルド・リトルデール／作

ひがしちから／絵

こみやゆう／訳 文溪堂

（Eヒ）※4歳から

クリスが寝る前にパパに話しているのは、赤と緑のシマウマ「アレクサンダー」が今日どんなに悪い子だったかということ。朝から牛乳をこぼすし、おもちゃを壊すし、歯も磨かない！わざとじゃないけれど、ときどき悪い子になってしまうアレクサンダー、その正体とは…。



わたしだけのいす どうつくる？

二歩／作・絵

くもん出版

（Eニ）※5歳から

わたしのほかに、誰も見たことがない、わたしだけのいすを作ろう！アイディアを出すための秘密のじゅもんは、「いすつく」。「い」つもとほんたい、「す」きから広げる、「つ」きぬける、「く」みあわせる。試行錯誤して出来上がったいすは最高！きみならどんないすを作る？

低学年向き



こちらまほう学校じむ室です
こまつあやこ／作
モカ子／絵
金の星社
(91コ)

7歳の3月にだけ受けられる、まほう学校の試験に落ちてしまったたんぽぽ。落ちこんでいるところへ、じむ長だというネコがやってきて、たんぽぽをまほう学校じむ室の見習いにスカウトしたいというのです。まほうを習うチャンスがあるかも！と期待したたんぽぽは、見習いとしてはたらくことを決めます。



大あらしだ！
ハリケーンがやってくる
ジェイソン・チン／作
津田紗矢佳／訳
ウェザーマップ／監修
福音館書店

アメリカの近くの海でハリケーンが発生しました。ハッテラス島では、島に住む人たちが急いで避難の準備を進めています。やがて、雨が強くなり、木の枝や屋根の板も飛ばされるほどの風が吹き荒れて…。ハリケーンのしくみや、その研究をする人々の仕事も知ることができる絵本です。

中学年向き



東階段そうじの班長は
マジマジメ！
ドキドキ学校おそうじ隊
横沢彰／作 スカイエマ／絵
新日本出版社
(91ヨ)

小学4年生のきららの学校では、6年生から1年生の縦割り班でそうじをします。テキトーにやってさっさと終わらせようと考えていたきららでしたが、そうじが大好きで「夢は清掃会社経営」というマジメな^{まじま}間島さんの班になり「みんなでそうじを楽しみましょう」なんて言われてしまい…。



まんが まるやま昆虫研究所
トンボ・バッタ・セミのなかまたち
丸山宗利／文 じゅえき太郎／絵
小松貴／写真
毎日新聞出版
(486, 1)

秋になるとトンボをたくさん見かけるようになります。そっと近づいてつかまえてみる人もいるでしょう。たくさんの昆虫の中から、トンボ目・バッタ目・ナナフシ目・カマキリ目・カメムシ目のなかまを取り上げ、写真や4コマまんがで紹介する本です。ほかにも「カブトムシ・クワガタ」「チョウ・ハチ・アリ」の2冊があります。

高学年以上



エントラーダの子どもたち
エレン・オー／編
原田勝ほか／訳
あすなろ書房
(93エ)

家族とアメリカに引っ越してきたライラ。アパートの裏庭で、故郷に思いをはせていました。両親は「これからよくなるよ」と言うけれど、生まれ育ったトリニダード・トバゴが恋しいライラにはとまどうことばかりで…。アメリカのとある街にある古いアパート「エントラーダ」に住む、12人の子どもたちの日常を綴った短編集。



ABCで調べる
アルファベット略語辞典
深谷圭助／監修
あかね書房
(81)

CDやPC、MVPなどの略語は、長い英文を短くしてあらわしたもの。ただのアルファベットの並びではなく、くらしの中に生きている言葉なのです。この辞典では、略語の正式名称のほか、日本語での意味など、私たちが身近に見かける略語を中心に解説されています。気になる略語をぜひ調べてみてください。